

平成26年度

# 自治懇談会

## 村民の声を村づくりにも

村民の声を直に聞き、村行政に反映する機会として、昭和53年から実施している「自治懇談会」が今年も行われました。

今年も、1月13日の中原・西原・川下自治会を皮切りに、1月30日中央自治区まで全11会場で開催され、約340人の村民が参加しました。

懇談会で行われた村・教育委員会からの報告と、村民のみなさんからいただいた主なご質問などを紹介します。



1月13日開催／中原・西原・川下自治懇談会(会場：第4研修集会施設)

### 村からの主な説明

#### ○東出村長あいさつ

- ・降雪状況(昨年度との積雪量の比較)
- ・農業情勢(作況状況、米価の低下など)
- ・新篠津村まちづくり総合計画後期基本計画(山車会館完成・防災行政無線デジタル化・アイリス閉鎖・ゴルフ場指定管理など)

- ・平成27年度予算編成方針
- ・開村120年記念行事について
- ・交通安全の推進(目標/平成27年9月29日交通事故死ゼロ3000日)

#### ○蜂屋教育長あいさつ

- ・学校教育関係(小学校 ICT教育環境整備、中学校 部活動の充実)
- ・社会教育関係(生涯学習の取組、高齢者教育の推進、青年団活動など)

・通学・大雪対策(安心メールの導入など連絡体制の強化)

・給食センター関係(厨房設備の改修)

・家庭教育講座の開催

#### ○各課担当説明

##### 【産業建設課】

・婚活パーティー

・新篠津村PRキャラクター

##### 【住民課】

・高齢者乗合タクシー

##### 【総務課】

・日本ハムファイターズ応援大使

・開村120年事業

### 主な意見・要望など

#### 【少子高齢化関係】

Q 今後の人口減少対策について考えを教えてください。また、人口減少対策を行い、人口が増加することも重要だが、地域の在り方についても考えていただきたい。

A 国がしっかりと対策を考えなければいけない。本村においても、高校生の医療費を無料にしたり、出産祝い金を考えたりしている。他市町村とのサービス合戦にならないよう、国・道・市町村が一体となって対策をしていかないと歯止めはかからない。

Q 高齢者等のトレーニング施設の充実について。健康なうちからトレーニングすることが重要だと考える。村の出来る範囲で空き施設等を利用してトレーニングできる施設を作って

いただきたい。

A 健康寿命を延ばすという観点からそういった施設は必要であり、アイリスや自治センターを利用して出来な

#### 【農業関係】

Q 国の予算が発表になり、農業予算が削減となっていたが、村の考えを教えてください。

A 農村整備の予算が80億円から157億円になり、四分の一が削減されている。2015年度補正予算について、土地改良区と連携して要請していく。

#### 【その他】

Q ふるさと納税の制度が4月から変わり、手続きが簡素化された。全国から寄附してもらえよう、村でも取り組んではどうか。

A 控除額が増え、申請も簡素化された。国からは本来の趣旨からは外れないよう通達もあるが、特産品PRの観点から検討はしている。

Q 給食アレルギーの対応について教えてください。

A 給食アレルギーマニュアルを策定した。学校、消防などと連携し、万全な体制をとっている。

#### ○問合せ先 総務課企画係

☎ 57-2111 (内線422)